



### 網膜剥離について

網膜剥離と聞くと皆さんはどう思われるでしょうか。

よくテレビなどでも耳にするこの病気古くは漫画「キャプテン翼」のロベルト本郷がブラジルサッカーを引退、最近でも有名なプロボクサーが引退と、見えなくなってしまう病気の代名詞として扱われています。

網膜剥離の原因は多々ありますが、一番多いの

は近視による網膜周辺部の菲薄部分に穴が開いてしまうことでしょうか。次が外傷でしょうか。外傷といっても、サッカーやボクシングなどから、アトピーによる目の擦り傷(叩いている場合もあり)まで幅広いです。

共通の自覚症状として、飛蚊症が挙げられます。この飛蚊症、生理的飛蚊症といって、年齢とともに増加するものもあり、一概にはいえないのですが、非常に細かい粒子が大量に目の中で飛んだら眼科に行ってみてもらうようにしましょう。

網膜に穴が開いたただけであれば、レーザー治療で治療することもあります。しかし、視野が欠けてきたり、全体が白くぼやけてしまったら、手術治療が必要となります。この際、時間をおくことは得策ではありません。物を見る網膜の中央「黄斑部」が剥がれてしまうと、視力回復に時間が掛かる、もしくは視力回復自体が難しくなるのです。中には失明する場合もあります。

手術自体は、大きく分けて2種類あります。強膜内陥術、または硝子体手術です。眼球の壁(強膜)にシリコン性の棒のようなものを縫い付けて陥入させ眼球の壁を網膜の穴に近づけて、網膜の穴を引っ張っている硝子体(眼球内の透明なゼリー)のベクトルを変えてしまう強膜内陥術と、硝子体そのものを取って網膜の牽引をな

くしてしまったり、硝子体手術。それぞれに一長一短があります。

初回手術復位率は、施設によって違いますし、難治性の網膜剥離もあり一概に比較はできませんが、全国的に概ね90%程度と考えられます。以前は入院して絶対安静を保つてもらうことが常識でしたが、手術機器の発達之恩恵を受け、現在は当院を含め日帰りでも対応している施設も増えてきております。

**伊藤 勇**  
保谷伊藤眼科院長  
大学病院で最先端の眼科医療に携わってきた眼科専門医。地域の医院との連携を積極的に図っている。

取って網膜の牽引をな

**☎ 042-439-8123**  
西東京市北町 1-6-1  
レッツビルディング 3F  
<http://www.itoganka.com/>

■科目：網膜硝子体疾患手術、緑内障手術、白内障手術、眼科一般診療

■時間：水・土曜午後、日曜、祝日は休診  
※緊急手術は随時対応 ※月・金曜午後は予約優先

	月	火	水	木	金	土	日
9:30~12:30	○	○	○	手術	○	○	／
14:00~17:00	検査・診察	手術	／	手術	検査・診察	／	／